



2024年1月31日

各位

会社名 EIZO 株式会社
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員 経理部長
兼 IR室長 有生 学
電話番号 076(275)4121

令和6年能登半島地震による業績への影響の見通しについて(特別損失)

令和6年1月1日に発生しました能登半島地震により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

また、今回の被災に関しましては、各方面よりお見舞いや励ましのお言葉、多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

この地震による当社の連結業績への影響の見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 地震による業績への影響見通し

当地震による影響額は、以下に記載の稼働見通しのもと、建物、設備等の修繕費、棚卸資産の廃棄損、および工場の不稼働、低稼働による損失などとして500百万円の特別損失の計上を見込みます。

加えて、生産数の減少により、販売機会の損失が見込まれ、売上高への影響として約500百万円の減収およびこれに伴う営業利益の減少を見込みます。

この業績への影響は2024年3月期第4四半期に計上する見通しとなります。

被災地域ではライフラインへの被害が大きく、上下水道の復旧まで長期間要するものと想定されています。この状況下、当社グループ全従業員が一丸となって一日も早い事業活動の正常化に向けて取り組んでおります。

なお、2023年10月31日に公表しました通期の業績予想および期末配当金(1株当たり100円予定。実施済みの中間配当金100円を加え、一株当たり年間配当金200円)に変更ありません。

2. 被災した当社グループ事業所の稼働状況(1月31日時点)

1) EIZO エムエス株式会社 羽咋工場

1月10日から時間を短縮して生産を再開し、1月29日からは通常の70%稼働となっております。2月13日から100%稼働を計画しております。

2) EIZO エムエス株式会社 七尾工場

1月22日から時間を短縮して生産を再開し、1月29日からは通常の50%稼働となっております。従業員の生活の復旧を最優先に、3月4日から100%稼働を目指します。

※1: EIZO エムエス株式会社は、羽咋工場にて EIZO 製品の電子回路基板生産を、七尾工場にて EIZO 製品の組立てなどを行っております。

※2: 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の影響額は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上